

### 知っていますか？『レモネードスタンド』

『レモネードスタンド』と呼ばれる活動は、アメリカのアレックス・スコットさんが自宅前の芝生で、レモネードを1杯50セントで売り始めたのがきっかけで始まった取組です。アレックスさんは1歳の誕生日を迎える2日前に小児がんであることが分かり、脊髄への転移もありました。治療をする中で、同じ病気の子どもたちと出会ったアレックスさんが、小児がんを患う子どもたちのために募金を集めようと始めたのが『レモネードスタンド』です。2004年6月12日には、アメリカ50州で一斉に開催されたことから、6月12日は『アレックスのレモネードスタンドデー』とされ、取組は世界に広がりました。

日本では2016年にレモネードスタンド普及協会が設立されました。協会のホームページには【レモネードをつくって、売ってみる。レモネードを買ってみる。あなた関わった1杯のレモネードは小児がん治療の発展を待ち望む「だれか」を、救うことにつながります。】とあります。

奈良県でも、9月18日に平群町で、10月1日に香芝市で『レモネードスタンド』が開かれました。当時4歳のアレックスさんが始めた取組が私たちの身近なところまで広がってきました。『レモネードスタンド』にかかわっておられる方には、最愛の子どもさんを小児がんて亡くされた方もおられます。そこにあるレモネードは見た目も味もただのレモネードだと思いますが、きっといろんな方の思いが詰まったレモネードなのだと思います。